

Special Article + Booklet

薬物動態の変化を伴う 薬物相互作用2015

臨床講座

虫による皮膚疾患 (疥癬を中心に)

セルフメディケーションで考えよう!
虫さされで悩むお客さん

小児科の診察室から薬剤師さんへ
毛虫も毛虫かぶれも嫌いです

一病院薬剤師のつぶやき
努力は報われると信じましょう

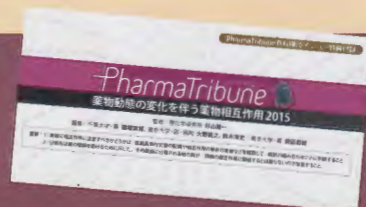
医薬品適正使用情報 DI

医療用麻薬製品の使用期限表示に関するお知らせ
| 武田薬品工業株式会社

抗菌薬処方
解析企画
協力メンバー募集

詳細はp.42をご覧ください

有料購読メンバー特典付録
薬物相互作用2015
ポケット版



時は来た! 薬剤師としてのプロフェッショナルになれ!

薬剤師の不祥事が報道され大きな波紋が広がる中、一方では薬剤師への期待と評価も急上昇している。なぜか?

病院に関して言えば、薬剤師が病棟に常駐するようになったことが理由ではないだろうか? 医師不足や診療報酬の誘導、医政局長通知に尻を押されてではあるが、薬剤師の常駐により、患者や他のメディカルスタッフとの距離が縮まった。今後、本当の意味で患者に寄り添った薬剤師業務が発展していくことと思う。また、チームとしてはプロトコールに基づく薬物治療管理(PBPM: 医師と事前に作成・合意したプロトコールに基づき、薬剤師が薬学的知識と技能を活用して、医師等と協働で薬物治療を遂行すること)が進み、さらに責任ある仕事が増えていくことだろう。

調剤薬局ではどうだろうか? 患者の同意のもと、検査値やその他の情報を薬局に提供する病院や院内情報にアクセスを許可する病院まで現れた。腎機能がわからないままに腎排泄型の薬剤を調剤したり、体重がわからず調剤に苦慮したことが遠い昔のように思える日がもうすぐ来るだろう。大洗海岸病院では在宅医療の訓練の場として、院外の薬局薬剤師も多職種チーム回診に参加できる「大洗塾」を開催している。

私は高齢の枯れかかった薬剤師だが、若い薬剤師には走りながら、しかし冷静に、また謙虚に自己をふり返りながら進んでほしい。

主役は薬剤師ではない。患者さんである。

勉強は自分のスキルアップや地位の確立のためにするのではない。患者さんに最新のベストな治療を提供するためにする。

医療チームは診療報酬を得るためにあるのではない。専門家スタッフの能力が埋もれず医療現場に確実に提供できるようにするための仕組みとして作られた。

今の流れは、能力を発揮しようと考えても思うように動けなかった時代の薬剤師が臥薪嘗胆で勝ち取った、とても大切な財産である。うまく利用してさらに高みを目指してほしい。

薬剤師は、今、種として生き残れるか、滅亡するかの分水嶺にいる。生物学の世界では特徴の無い種は滅びると言われている。他職種の領域を学んで博識の薬剤師になるのも良いが、それよりも薬剤師にしかできないスキルと思考を磨き、他のチームメンバーでは代替できない、チームになくてはならない無二の人材(プロフェッショナル薬剤師)になってほしいというのが私の願いである。

新井克明

医療法人渡辺会 大洗海岸病院(茨城県) 薬剤部

薬剤師のあり方や先を見据えた取り組みなど
あなたのエッセイで巻頭を飾りませんか?
実務薬剤師の皆さんのご投稿をお待ちしております

【応募期間】随時 【文字数】800字程度 【記載事項】ご施設名、お名前(実名で掲載させていただきます)
【お問い合わせ・投稿先】E-mail: pt-info@medical-tribune.co.jp

..... 今月の数字

DDI

2年ぶりの薬物動態の変化を伴う薬物相互作用(Drug-Drug Interactions; DDI)特集。「薬物動態の変化を伴う薬物相互作用2015」ポスターおよびポケット版では288の薬剤(果汁飲料、喫煙など医薬品以外も含む)を取り上げている。

(詳しくはp.6-23参照)

